

第182回 IDT本輪読シリーズ 第3部 第12章 設計チームをその場で、そして遠隔地から管理する

定義 → 理論 → **評価** → HPI → 場面 → 世界 → 職業 → 最新 → 課題

評価モデル比較 → 費用対効果 → **設計チームの管理** → リソースの管理

- 管理とリーダーシップ
 - マネジメントにはいろいろな定義がある。実務経験、機会、教育、ロールモデルなどで誰でもリーダになることは可能 リーダーシップモデル→状況的リーダーシップ
- コミュニケーション
 - チームコミュニケーション 制作スタッフ インストラクショナルデザイナー アシスタントプロジェクトマネージャー
 - 内容領域専門家 クライアント 経営層 エンドユーザ サポートスタッフ
- チーム編成(チーム内の動機づけなど)
 - チームをゴールまで動機づけをする方法
- 教育プロジェクトマネジメントの将来
 - 遠隔地からのマネジメントが将来の教育プロジェクト？
- まとめ
 - 全体的に、理論よりは実践よりの内容。学習者に学習させるとの同じような印象

管理とリーダーシップ(p192~195)

• マネジメントの定義

「マネジメントとは、組織のゴールを達成するために、個人とグループ、その他のリソース(設備・資本・技術)を使って、またそれらを介して、進めるプロセス」

• リーダーシップのコンピテンシーの分野

認知スキル	現状を評価して環境を診断することができ、問題解決のために何ができるかを計画すること
行動	問題解決のアクションを 行動やほかのリソースを適応させることができる
プロセスのスキル	コミュニケーション。

▪ 状況的リーダーシップの3つの要因

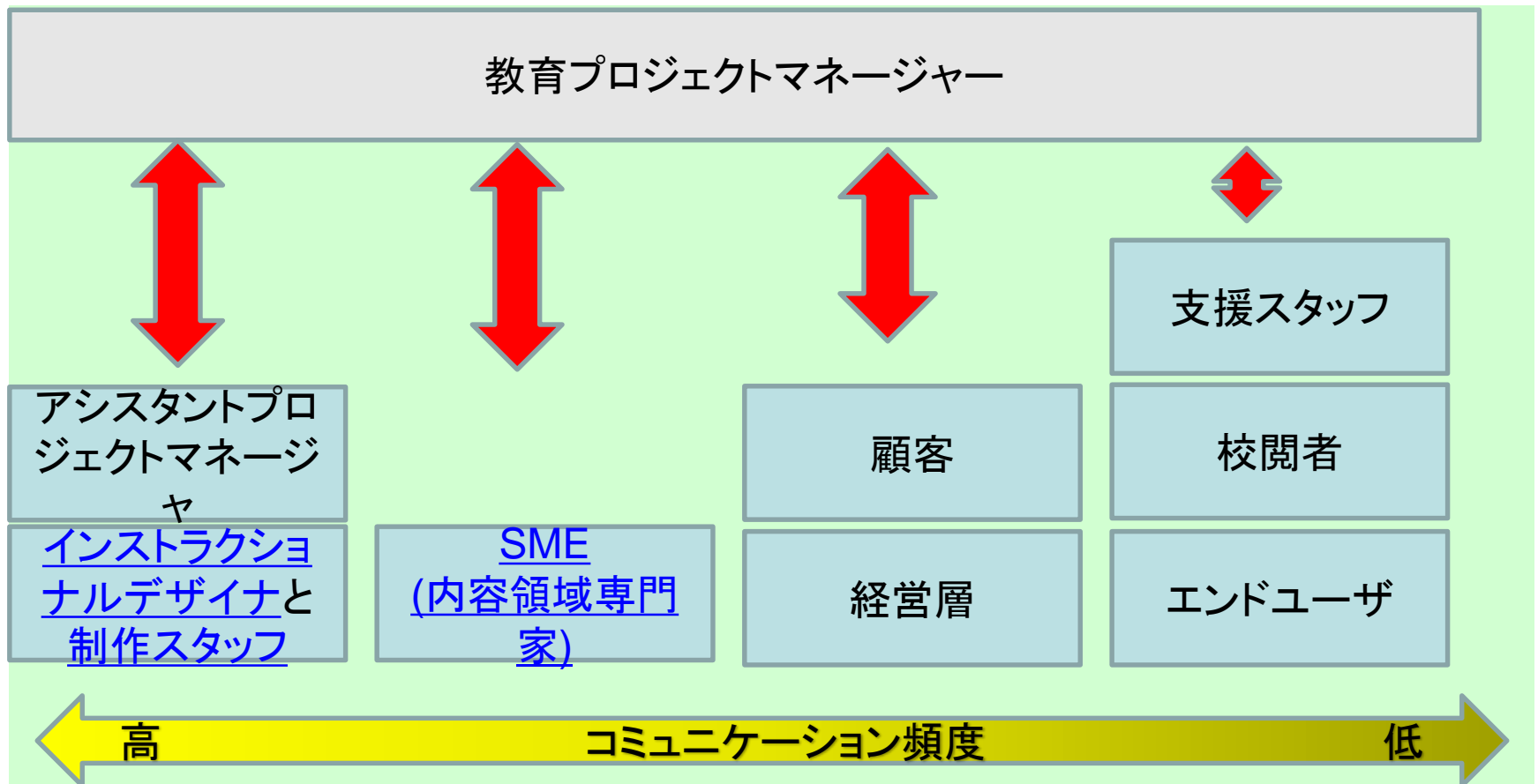
リーダーが与えるガイダンスと指示の量

リーダが与える社会的情緒的な支援の量

特定業務・機能・目標を実行するために必要な部下のレディネスレベル

(Hersey, Blandchard & Johnson, 2001)

コミュニケーション(p195-197)



チーム編成(p203~204)

• 動機づけ

チーム全体

チームのノルマや、役割、そしてゴールに関する議論をプロジェクトの早い時期から、プロジェクト全体を通じて行うこと

プロジェクトマネージャーのすること

質問に積極的に耳を傾ける

明解なフィードバックを与える

感謝を表明する

チームメンバーに自由裁量の余地を与える

自分自身で管理できるように後押しすべき

教育プロジェクトマネジメントの 将来(P204~P206)

- 遠隔地からのマネジメント
 - 基本的には対面コミュニケーションから電子コミュニケーションへの応用
 - メンバーが本当に有能なら自律的に交流ができるが、誰かが孤立しないように注意する必要がある。フィードバック、評価は チームの自信を築くためには欠かせない(Duarte & Snyder, 2001)
 - フィードバックは受け取る人のことなど いろいろなことに注意が必要。しかしながら 頻繁であることが不可欠
 - 非常に細かな点を逐次的に計画することや、すべてのプロセスをコントロールすることはバーチャルを息苦しくする。流動的で、柔軟性の余地のある標準的な手順を持つ必要がある



インストラクショナルデザイナー (p198~199)

- 重要な二つの変数

- 経験とスキルのレベルの差

自分のほうが経験豊富→成長を支援するコーチ
レベルがどうあれ、フィードバックを与えることが責務

- 役割区分

出来上がったものが違っても、自分で実行しようとし
ない、「実務者」ではない。成長を期待していること
と言い、コーチングし、フィードバックを与える。



制作スタッフ(p197~198)

- クリエイティブな人々のマネジメント
 - クリエイティブな人々のマネジメントの目的は期日や予算を守ってもらうことだが、このようなゴールには心を動かされない。
 - クリエイティブな人々の重要なことは批判される懸念なく創造的で自由が保障されていて、努力の共感と理解
 - 作品はクリエイティブな人々の投影なので知識と細心の完成をもって接すべき

内容領域専門家(SME)(p200)

- プロジェクトマネージャの責務
 - SMEに限定範囲と役割を説明。SMEのNeedsとWontsを聞く
- 注意点
 - SMEと共通言語がないことが多いため、専門分野関連情報をSMEに求める
 - プロセスの早い時期にSMEを関与させることで後で起こり得る問題の多くを防ぐことができる



まとめ(p206~207)

- 「この状況ではこれ」はない(万能薬はない)
- 教育プロジェクトのマネージメントはバーチャル、グローバルになっていくがそれぞれには別々の注意が必要
- 学習者に(グループ)学習してもらおう環境を整えるのとプロジェクトマネージャが各々に作業してもらおうのと似ている?

